hintの生い立ちと、自走するコミュニティの仕組みを公開します。

不思議な学びの場 ～ hint 誕生物語

不思議な学びの場、みんなで創るラーニング・コミュニティ

h!nt は、こうして生まれました。

斉藤 徹 プロフィール

1985年	慶應義塾大学を卒業、日本IBM株式会社に入社	（技術者）
1991年	株式会社フレックスファームを創業	（起業家）
2000年	インテル、メリルリンチ他から30億円超の資金調達	（経営者）
2001年	主力製品が日経産業製品賞と日経産業広告賞を受賞	
2005年	株式会社ループス・コミュニケーションズを創業	
2011年	書籍「ソーシャルシフト」を上梓	（研究者）
2016年	学習院経済学部経営学科 特別客員教授に就任	（教育者）
2016年	**教え子と「イノベーションチーム dot」を創設**	
2018年	**幸せ視点の経営学を学ぶ私塾「hintゼミ」を創設**	
2020年	**ビジネス・ブレークスルー大学経営学部 教授に就任**	
2020年	書籍「業界破壊企業」を上梓	
2021年	**書籍「だから僕たちは、組織を変えていける」上梓**	

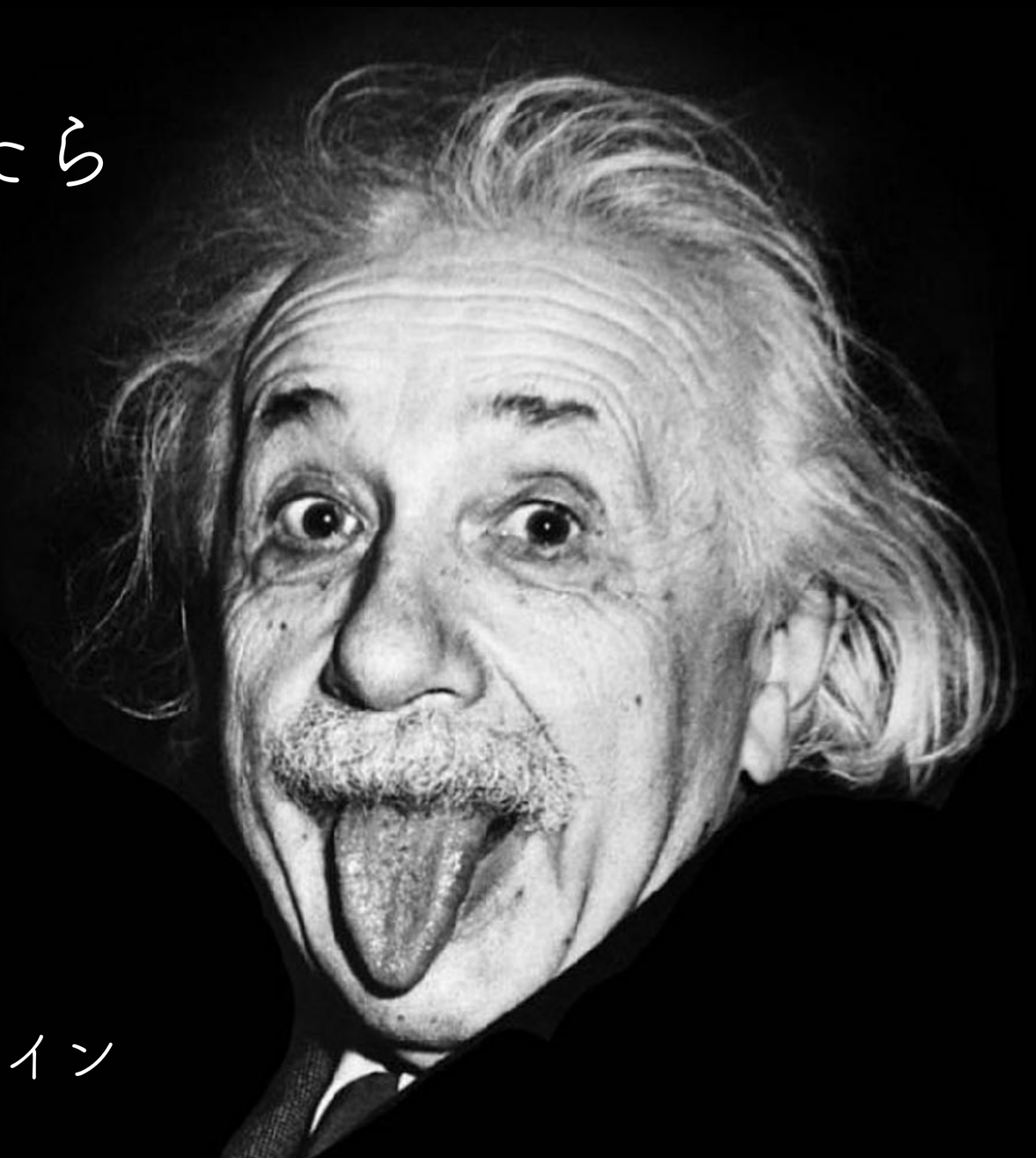
hintの原点

hintの原点

＝

教壇に立って、心から感じたこと

正規の教育を受けて
好奇心を失わない子供がいたら
それは奇跡だ。



アルベルト・アインシュタイン

正規の教育を受けて
好奇心を失わない子供がいたら
それは奇跡だ。

この言葉につきます。

学習院大学で、学生とともに過ごした四年間での気づきが
その後、僕の人生をつき動かす原動力となりました。

学生とともに過ごした四年間
かけがえのない日々でした。

起業家だけど、先生になりました。

教員紹介
斉藤 徹 特別客員教授

特別客員教授就任にあたって

教授就任にあたり、僕はひとつの志を持っています。それは、学習院大学から「人を幸せにする起業家」を輩出すること。若い仲間とともに「世界をより優しいところにする」ことです。起業は最高に楽しく、エキサイティングです。そして経営は人の幸せを創りだします。その背景には「経営の目的は、人を幸せにすることである」という僕の信念があります。

「人を幸せにする経営」について

僕は二十九歳の時に大企業を飛び出して経営者になりました。野心満々だった僕は、最先端の経営学を学び、現実の場で実践し、数多くの成功と失敗を繰り返してきました。製品市場マトリクス、競争の戦略、選択と集中、成果主義、時価総額の最大化。もちろん成功ばかりではありません。何度も倒産の危機に追い込まれ、そのたびに大いなる学びを得てきました。幾多の失敗経験を乗り越えた今、僕は中小企業の社長であり、大企業トップを補佐する経営コンサルタントであり、新たにスタートアップをたちあげた起業家でもあります。

この時、僕の心の中にあった、理想の教師像

映画「Dead Poets Society ～ 今を生きる」

ロビン・ウィリアムズ演じるキーティング先生

教壇に立つのは初めてのこと。理想の先生像を探し続けて
僕は「**キーティング先生**」にたどり着きました。

進学校で、厳しい規律に縛られ苦しむ学生たち。
一人ひとりに語りかけ、大いなる可能性を引き出していく。

その姿に僕は「**先生はかくあるべし！**」と思いました。

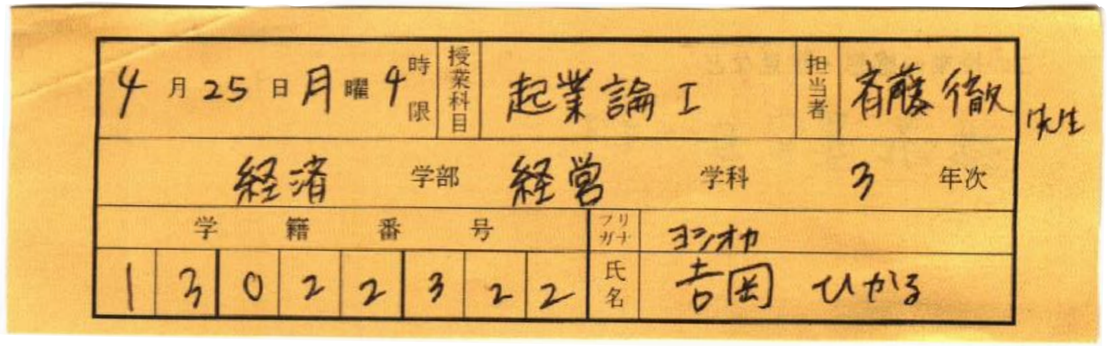
気合が入った僕は、時間をつくるためにお酒をやめて、
前期70コマ分、4000ページの**講義を作成**し、教壇に立ったのです。

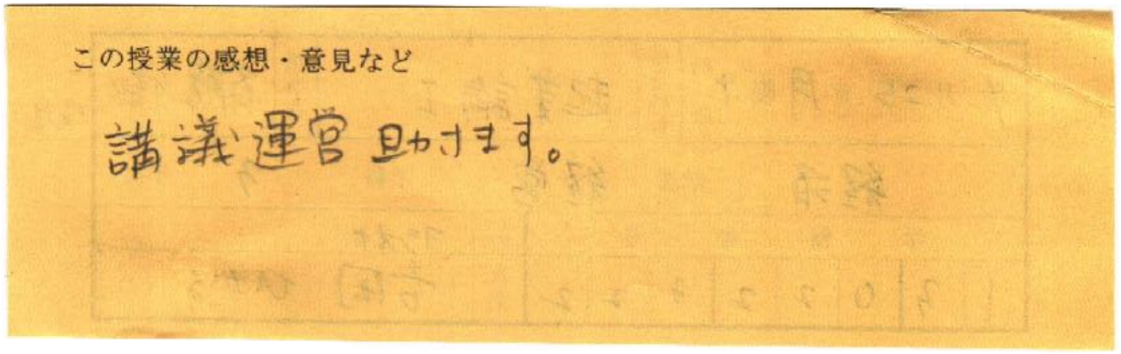
でも、待っていたのは、想像とは違う風景でした。

楊丞琳 二年沉靈
仁居

次の講義で、僕は教壇から学生に問いかけました。
「どう講義をつくればいいかわからない。
みんなの声をきかせて！」

すると、ひとりの学生が出席票に書いてくれました。


4月25日月曜4時限 授業科目 起業論Ⅰ 担当者 齋藤徹 先生
経済 学部 経営 学科 3 年次
学籍番号 1 3 0 2 2 3 2 2
フリガナ ヨシオカ
氏名 吉岡 ひかる


この授業の感想・意見など
講義運営 助かります。

「起業論」をどう進めるか会議
@研究室 on 2016/4/26

これが「チームdot」の原点です。

彼女たちが教えてくれたことを
僕は直ちに実行し

その後も、学生の反応を聴いては
改善し続けました。

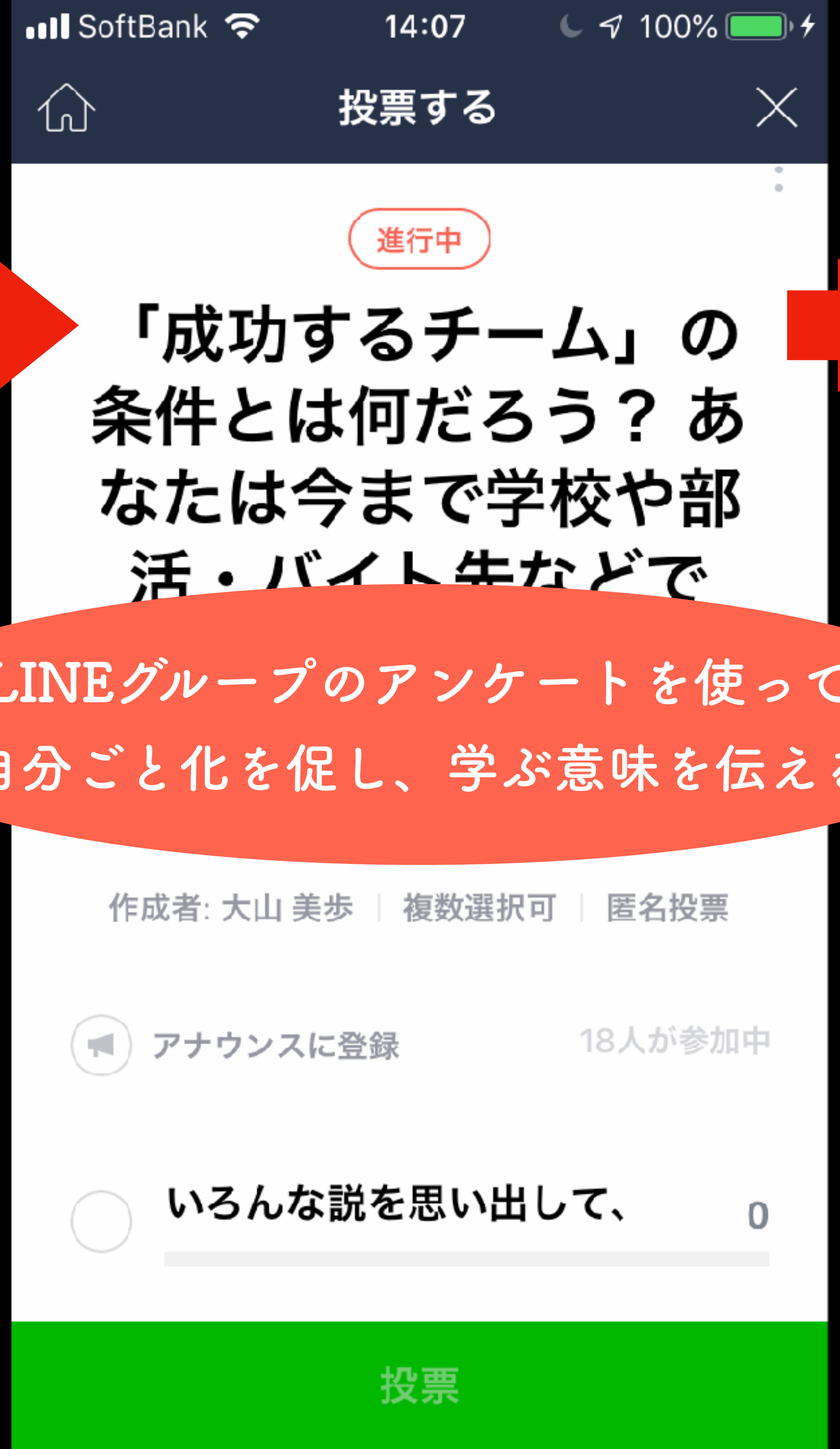
講義のオリエンテーション ～ LINEでつながろう

講義のLINEグループ 「2019ソーシャルキャピタル」 を用意しました。
履修する人は、友人にグループ招待してもらうか、斉藤あてメッセください。

受講生全員とLINEでつながり、いつでも
学生が話しかけられるようにする

LINE-IDは toru.saito

質問や要望、困ったことなどあれば、いつでも気軽にLINEでメッセ送ってね。



LINEグループのアンケートを使って
自分ごと化を促し、学ぶ意味を伝える

斉藤徹（とんとん）

今日のテーマ

学科	□営 □法 □政 □国 □文 □理		
学年	□3年 □4年	学籍番号	－ －
名前			

いつしか
とんとんと呼ばれる
ようになった😭

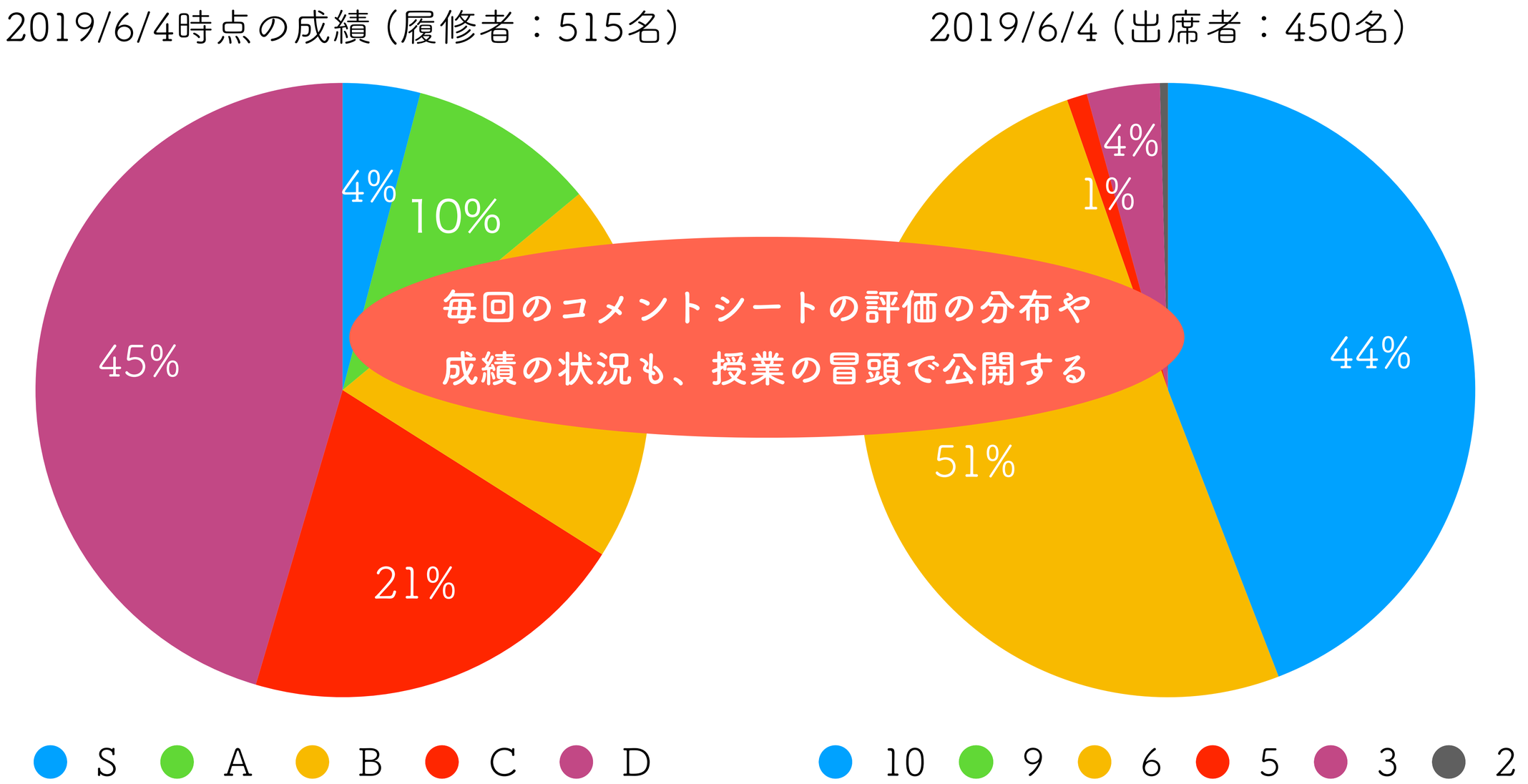
学び

オリジナルのコメントシートをつくり
まとめや質問への回答を記入してもらう

自分で使えそうなコト

とんとんへなんでもメッセ

2019年度「企業経営とソーシャルキャピタル」履修者 515名



学習院大学 2019講義・テキスト

「企業経営とソーシャルキャピタル」

第1回 オリエンテーション

第2回 「人のつながり」の理論

第3回

第4回 ソーシャルキャピタルの定義

第5回 ソーシャルキャピタル、光と陰

第6回 対話を通じて共感を育む

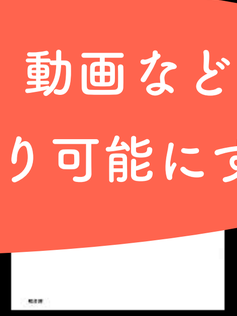
第7回 対人関係の問題を解決する

第8回 心理的に安全な場をつくる

第9回 チームの問題を解決する

講義資料や関連書籍、動画などを
ブログで公開、振り返り可能にする

「ソーシャルキャピタル講義」に興味を持った方へ


孤独なボウリング
ロバート・パットナム

米国のコミュニティ衰退を「ソーシャルキャピタル」という概念を用いて論じた、当該分野の原点となった書籍です。

ソーシャルキャピタル入門
稲葉陽二

タイトルの通り「ソーシャルキャピタル」について端的にポイントのまとめた本。ありがたい一冊です。

安心社会から信頼社会へ
山岸俊男

日本独特のコミュニティ文化の問題点を浮き彫りにした本。同氏による「社会的ジレンマ」もお勧めです。

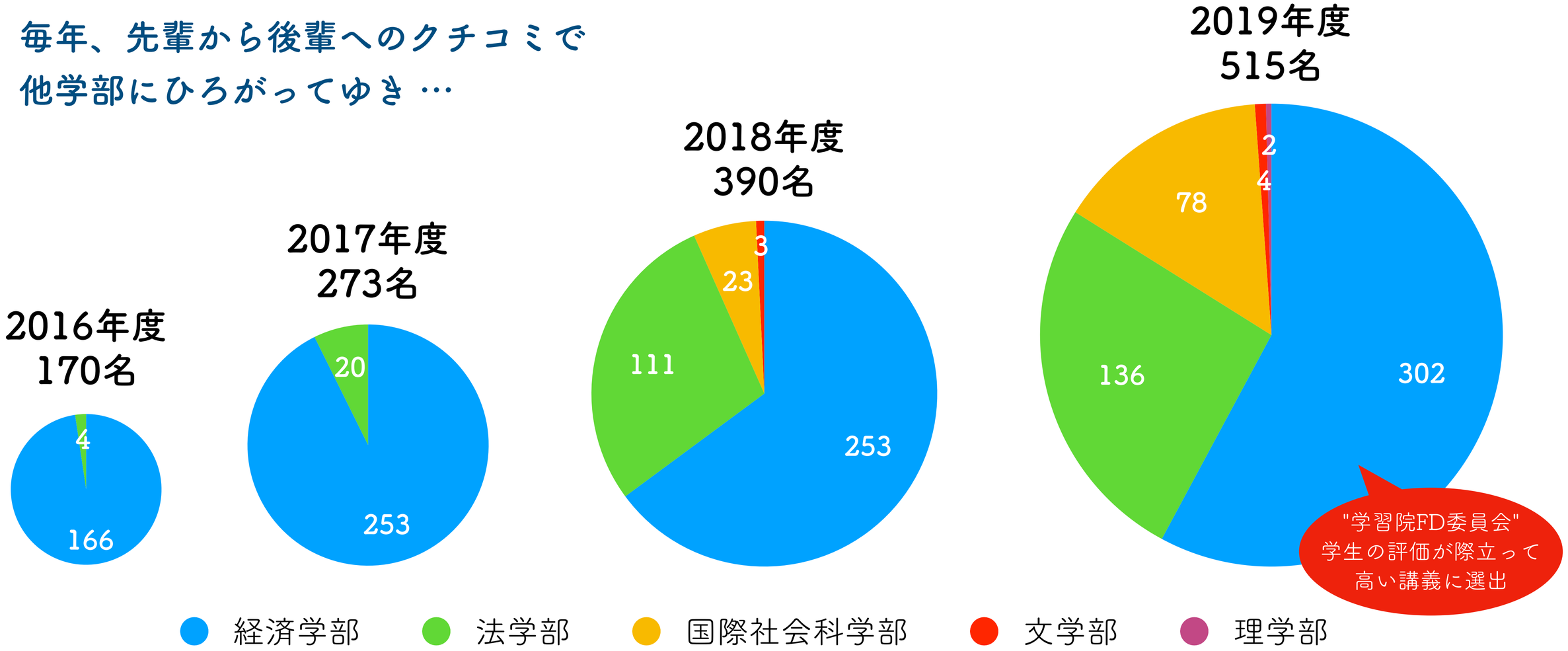
人のつながりに投資する企業
ドン・コーエン 他

経営者にとって見えざる資本ソーシャルキャピタル。そこにあえて投資する企業にフォーカスしたビジネス書です。

その結果 …

学習院大学「企業経営とソーシャルキャピタル」 履修者の推移

毎年、先輩から後輩へのクチコミで
他学部にひろがってゆき …



「企業経営とソーシャルキャピタル」

学習院大学、最大の教室でも収容できない、立ち見ができる講座に

Z世代の学生たちが教えてくれました。

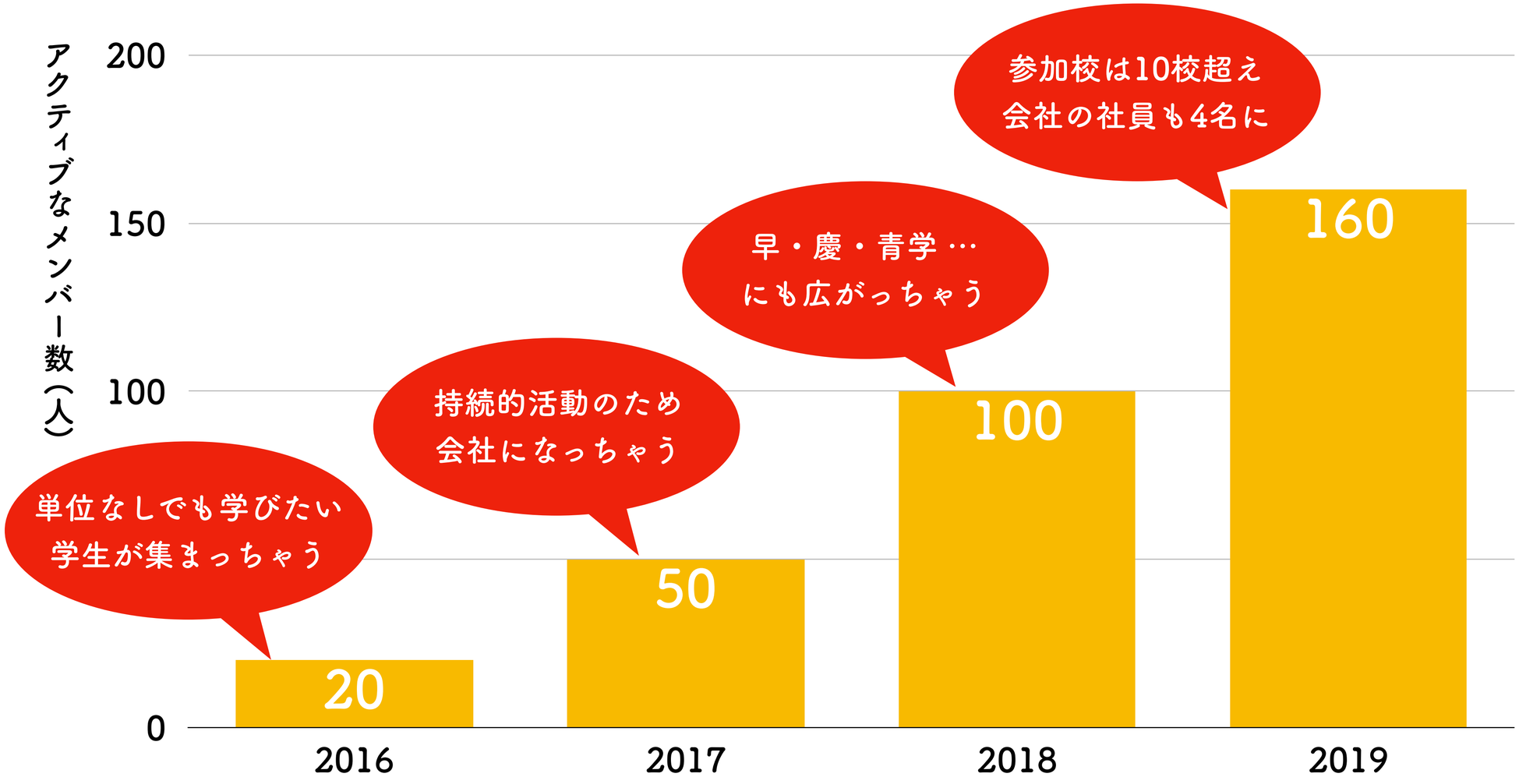
大学では、講義を超えて経営やイノベーションを
学びたい学生のために「**自主ゼミ**」をつくりました。

すると、学生たちは「**経営を自分ごと**」に考えるようになり
学びの面白さ、奥深さに目覚めはじめました。

今や、プレゼン、グラレコ、プログラミングなどを学びあう場
学生組織「**イノベーションチームdot**」として
他大学にまで、学びの輪は広がっています。

学生同士が楽しく学びあうチームdot
クチコミで他大学にもひろまってゆく

メンバーの紹介だけで、なぜか毎年広がっていった「チームdot」



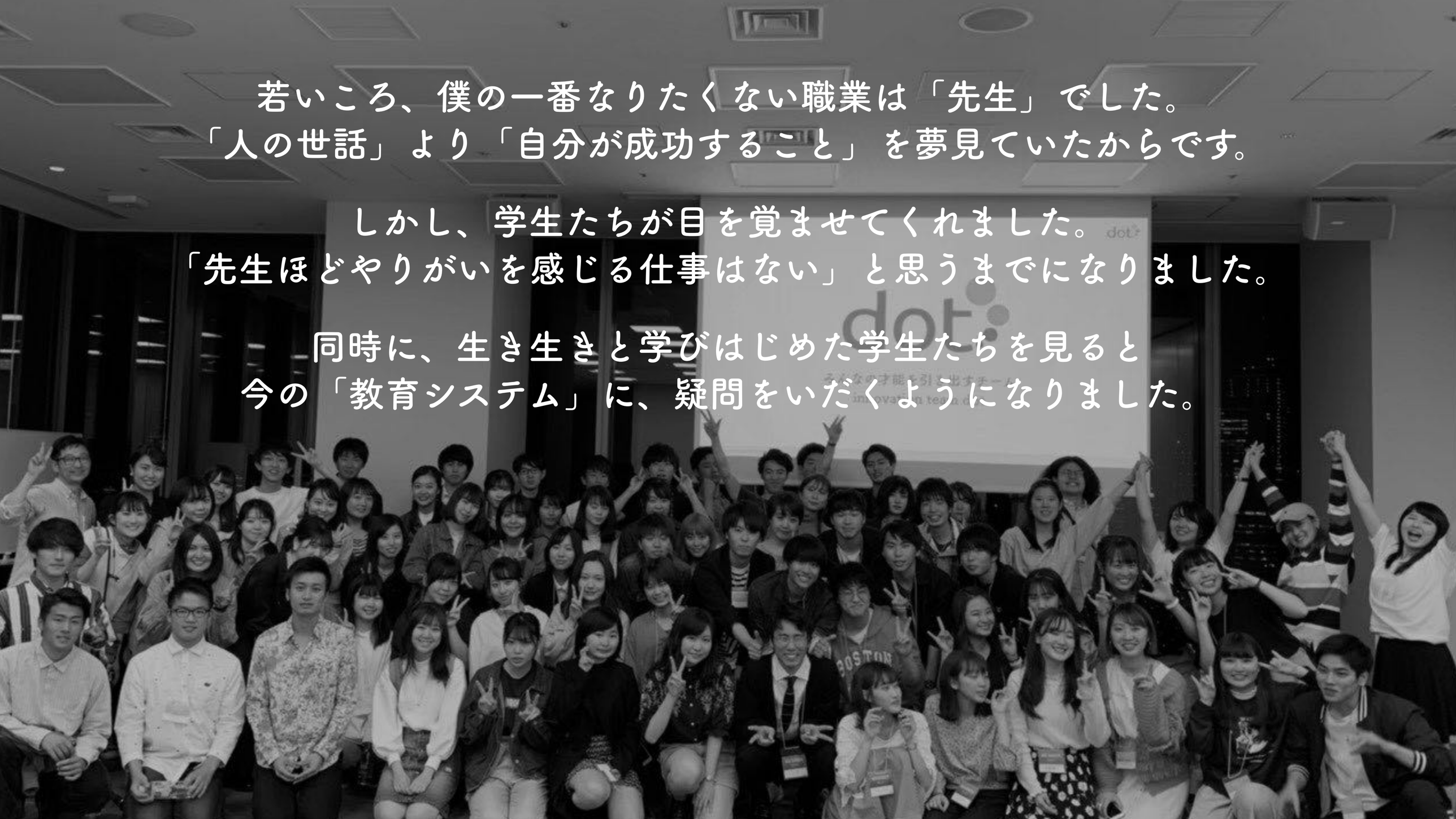
「卒業しても、ずっとdotの活動を続けたい」

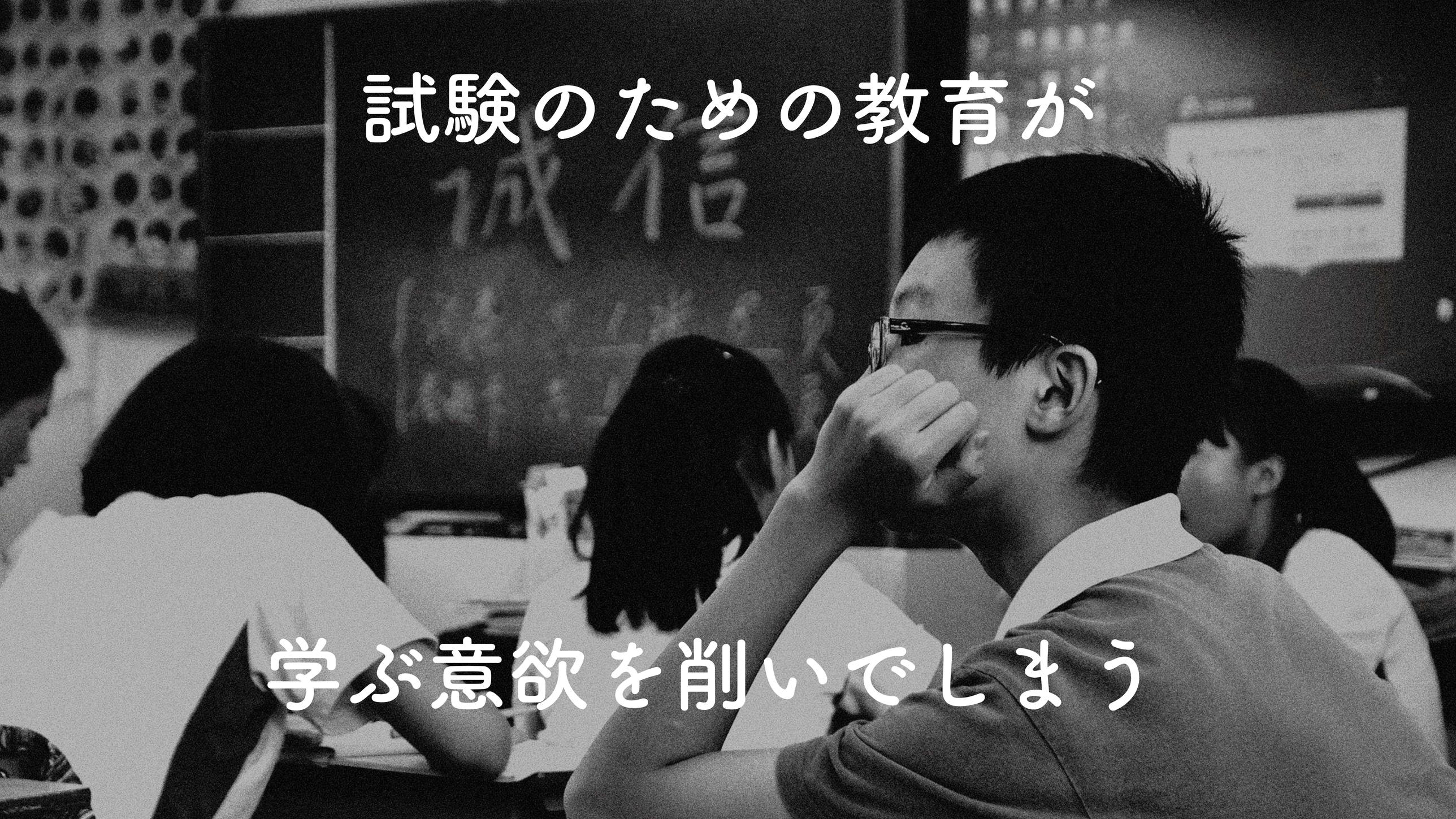
そんな強いを思いを持つ学生たちが起業を決意して
「**株式会社dot**」も誕生しました。

dotのメンバーは、個人の幸せが原動力となる
僕にとって「理想の組織」が実現可能であることを
教えてくれました。

hint

先生を続けたくなりました。


若いころ、僕の一番なりたくない職業は「先生」でした。
「人の世話」より「自分が成功すること」を夢見ていたからです。
しかし、学生たちが目を覚ませてくれました。
「先生ほどやりがいを感じる仕事はない」と思うまでになりました。
同時に、生き生きと学びはじめた学生たちを見ると
今の「教育システム」に、疑問をいだくようになりました。


試験のための教育が
学ぶ意欲を削いでしまう

🤔 **なぜ、学生は寝てしまうんだろう？**

↓

🤔 「授業」がつまらないから

↓

🤔 **「試験と単位」のための授業だから**

↓

🤔 知識を教えてテストするシステムが「効率的」だから

↓

😟 **入試も就職も「偏差値」が基準だから**

しかし、いろいろ調査を進めていくと
ある「**驚くべき学校**」にたどり着きました。

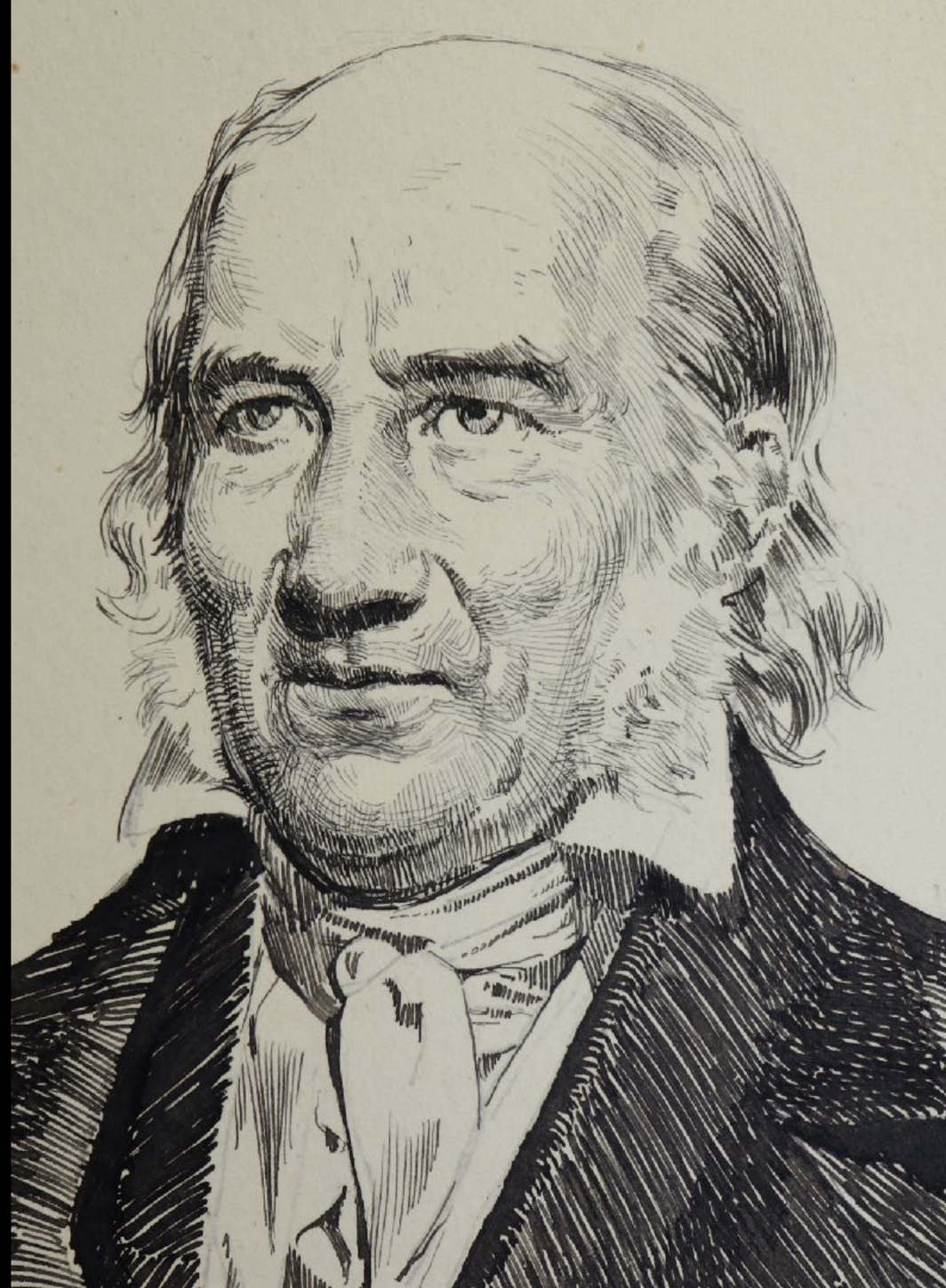
デンマークの思想家、グルントヴィが創設した
150年もの歴史を持つ人生の学校「**フォルケホイスコーレ**」

公的な教育ではないにもかかわらず
北欧の文化形成にも影響を与えた「**学校を超えた学校**」です。

若いころ通ったラテン語学校では、**無味乾燥な詰め込みの勉強、権威主義的な教師、窒息してしまいそうな学校の雰囲気**など、すべてが人をだめにし、怠惰にさせ、腐らせるものだった。

彼はそのような学校を「**死の学校**」と呼んだ。「**死んだ文字**」ではなく「**生きた言葉**」による相互作用を通じ、自らの内から「**生きる意味**」を見出せる「**生のための学校**」が必要である。この考え方がホイスコーレの理念となった。

出典：清水満「生のための学校」



近代デンマーク、精神の父　N・F・S・グルントヴィ（1783 - 1872）
デンマークの牧師、詩人、哲学者、教育者。デンマーク史において最も影響力の大きかった人物の一人で、その哲学は19世紀後半、デンマークの新しい民族主義を形成するに際して大きな刺激を与える。

フォルケホイスコーレとは…

- 全寮制、大人のための「人生の学校」
- 死の学校(試験・成績・忍耐)から、生の学校へ
- 生きる意味を発見し、親密な友ができる学びの場
- 北欧5カ国で400校以上。地域により多様性あり

写真出典：クリスプぶらす「デンマーク生まれの大人の全寮制学校「フォルケホイスコーレ」留学体験記」
EPOOH MAKERS「デンマークの自由すぎる教育機関『フォルケホイスコーレ』が個人と社会を幸せにする理由」

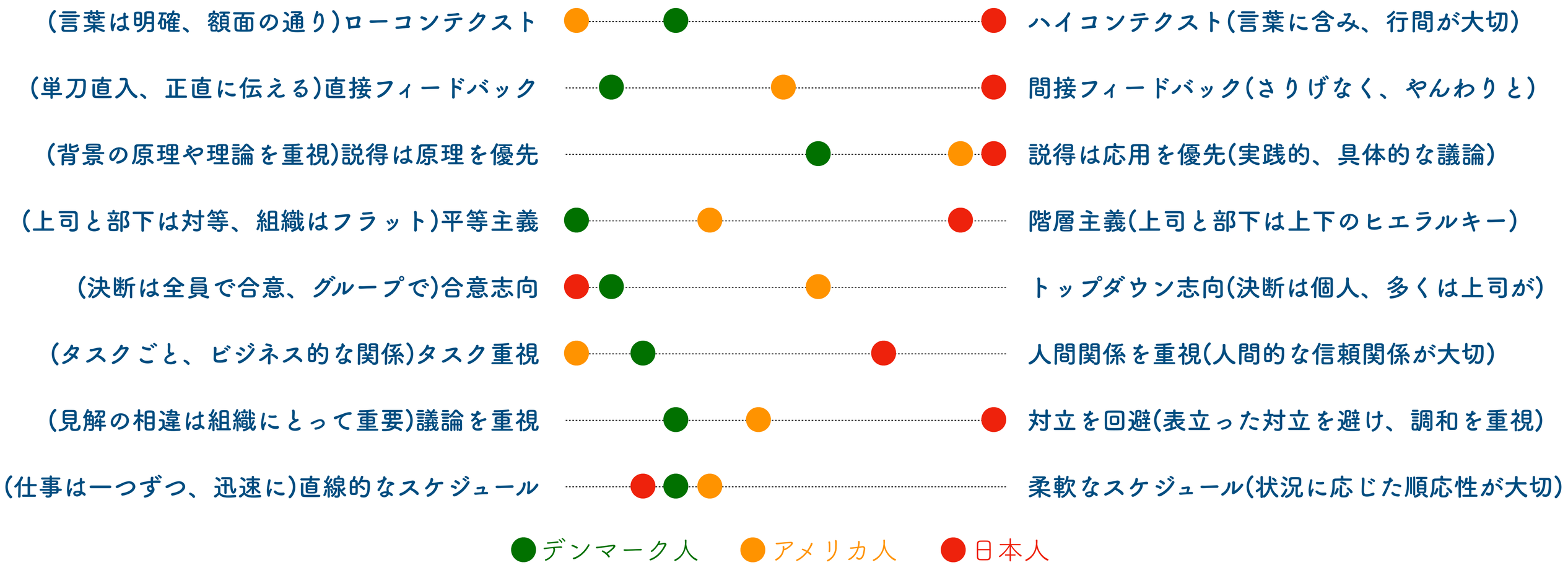
楽しくなければ学校じゃない！学びの特徴

① 数ヶ月から１年の全寮制を基本とする
② 各校が独自に多様な科目を設定する
③ 死んだ文字ではなく、生きた対話から学ぶ
④ 試験や競争は一切しない
⑤ 学生の自律的な学習を大切にする
⑥ 先生と生徒が対等の立場で相互学習する
⑦ 地域コミュニティとの緊密に交流する

「フォルケホイスコーレの思想」に感銘を受けた僕は
それを日本の取り入れられないかと考えました。

日本と北欧の「**環境や文化の違い**」を多面的に調査し
日本における「理想の学校像」を探ることにしました。

カルチャーマップに見る、日本人と北欧人の違い

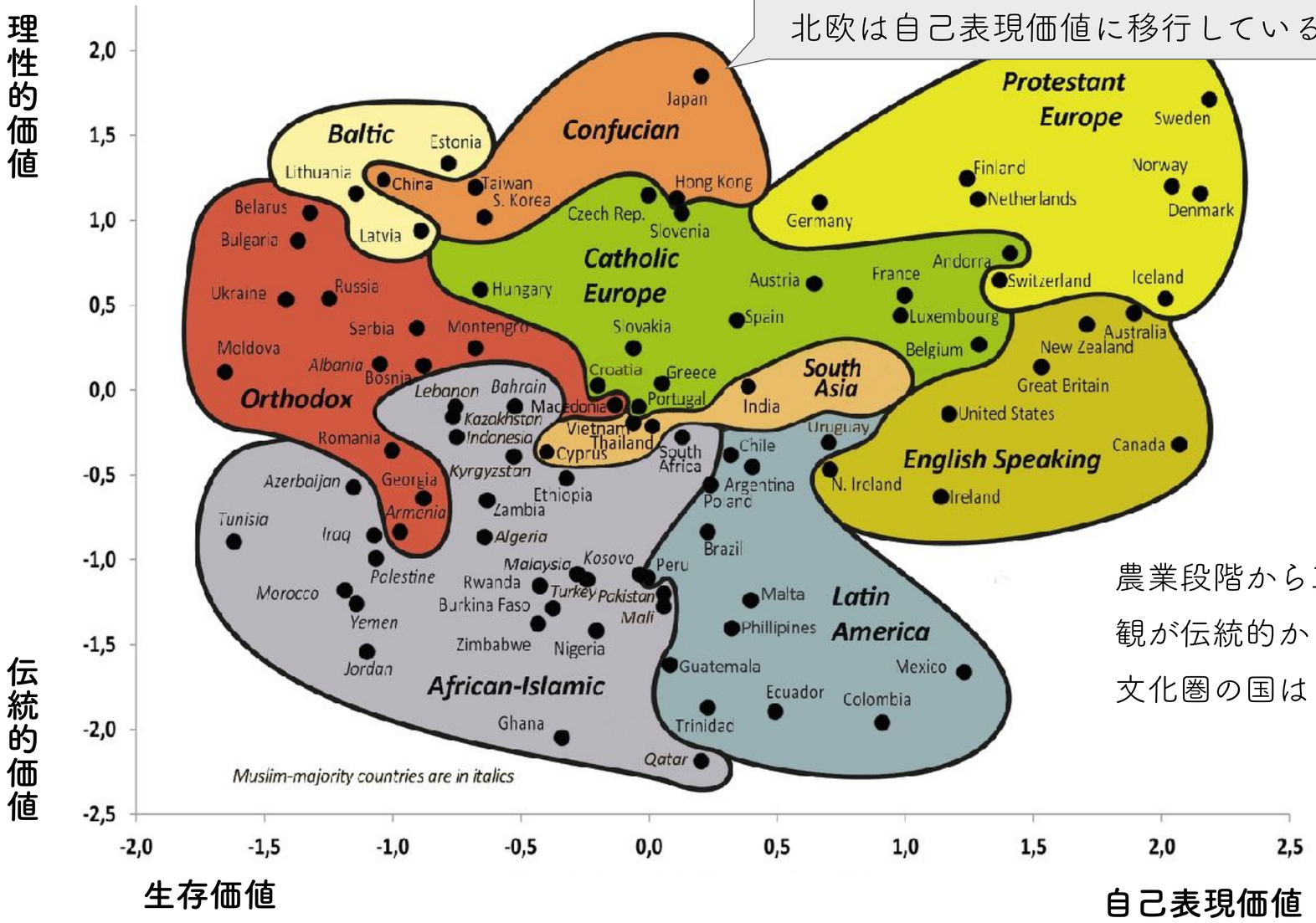


日本人と北欧人はコミュニケーションが多くの点で対照的。多民族のアメリカ人は実は中庸

参考資料：エリン・メイヤー著「異文化理解力」

価値観マップに見る、日本人と北欧人の違い

日本と北欧はともに理性的価値観が極めて強い
北欧は自己表現価値に移行している点が異なる



2015年「世界価値観調査」
イングルハート-ヴェルツェル図

農業段階から工業段階へ発展すると、社会の価値観が伝統的から理性的へと移行する。また、同じ文化圏の国はまとまり、クラスター化している。

参考資料「世界価値観調査2015」

グローバル・イノベーション・インデックスに見る北欧の先進性

	2018年 順位	2017年 順位	2016年 順位
スイス	1	1	1
オランダ	2	3	9
スウェーデン	**3**	**2**	**2**
イギリス	4	5	3
シンガポール	5	7	6
アメリカ	6	4	4
フィンランド	**7**	**8**	**5**
デンマーク	**8**	**6**	**8**
ドイツ	9	9	10
アイルランド	10	10	7
イスラエル	11	17	21
韓国	12	11	11
日本	**13**	**14**	**16**

北欧諸国が、イノベーションで世界をリードする理由は有機的な「**ナショナル・イノベーション・システム**」にある。

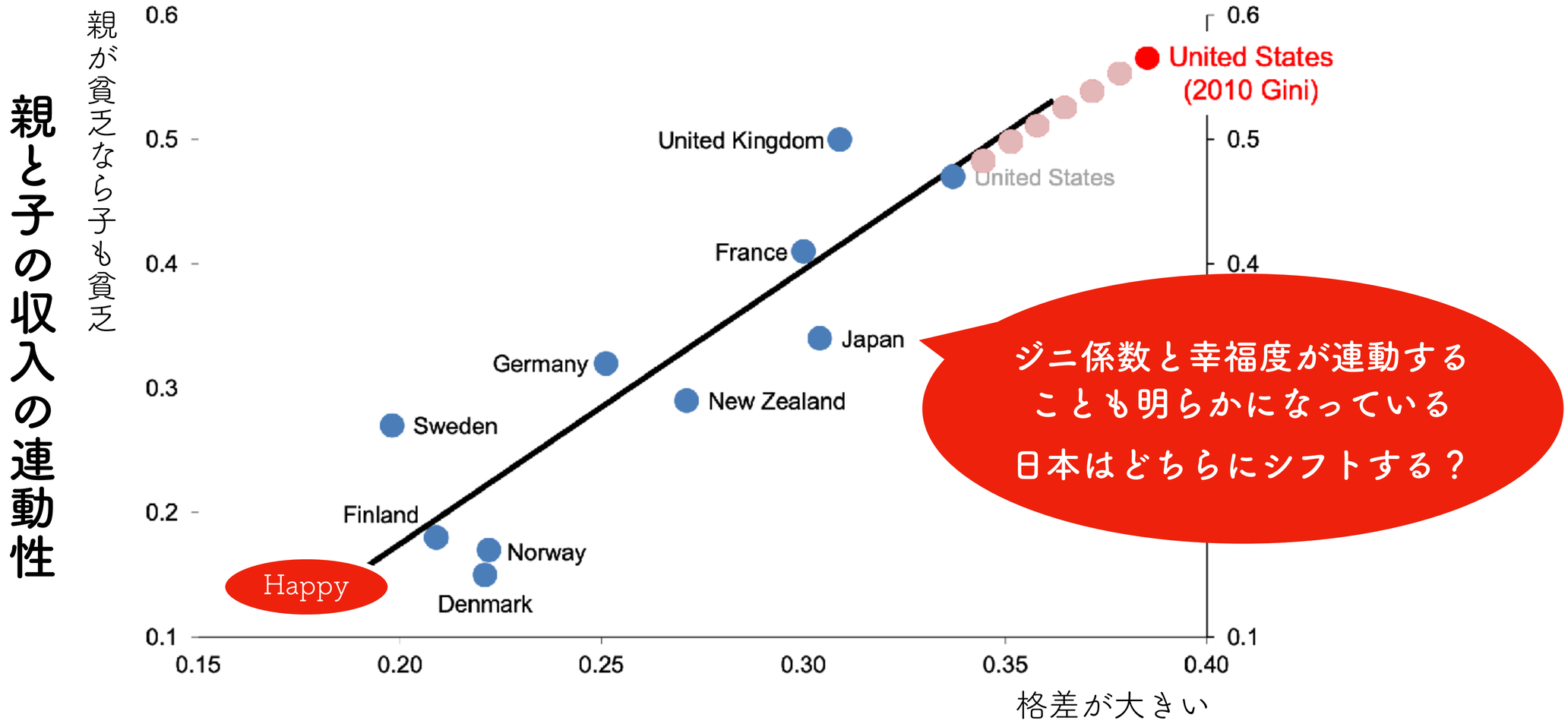
- **学術機関・公共機関・ビジネス**の緊密なコラボ結合
- **企業を守らず人を守る**ことで、産業の新陳代謝を促進
- **労働者の安全性と流動性を両立**させる雇用政策
- **教育および人材育成**の重視

工業(カネ・モノ)経済から
知識(ヒト・ツナガリ)経済へ

グローバル・イノベーション・インデックスは、2008年以来、コーネル大学と欧州経営大学院、世界知的所有権機関が発表する革新的な国ランキング。評価基準は、研究、インフラ、制度、市場洗練度、ビジネス洗練度、知識の生産、創造性の7点

参考資料：「グローバル・イノベーション・インデックス 2018」

グレート・ギャツビー・カーブ



明治維新において、日本は大胆に「**西洋文化**」を取り入れ
物質的価値観を基礎として、先進国入りを果たしました。

しかし、人口減少期を迎えた日本社会には
「**新たなパラダイムシフト**」が求められています。

今、僕たちは「**北欧文化**」に学び
物質的な豊かさから、精神的な豊かさへ
価値観をシフトする時代がきたのではないかと感じました。

北欧文化から学ぶ「**日本社会の課題**」（教育視点）

① 社会の課題： 誰もが**質の高い教育**を受けられる社会

② 地域の課題： **オープン**で**フラット**なコミュニティ

③ 組織の課題： 同調圧力がない、**心理的に安全**な組織

④ 個人の課題： 物質から**自己実現**へ、価値観の変容

フォルケホイスコーレのような、幸せに生きるための「**質の高い生涯教育**」**に、誰もが無理なく参加できる社会の仕組み**が大切だと感じます。ただし、北欧諸国は世界で最も高い税金が支える福祉国家であり、**ホイスコーレも国から支援**を受けています。日本において、税制から変革するには多大なる時間とエネルギーが必要となるため、ここに「**大きなチャレンジ**」があるのです。

どうすれば、**税負担なし**で
「生涯続けられる、高品質な学びの場」を
実現できるのか？

小さな規模ながら
学生組織「イノベーションチームdot」は
その可能性を見出しました。

教育界にイノベーションの風を！

✓~~常識　教育のプロセスは何も生み出さない~~

✓新発想　教育のプロセスで「**価値**」を創出できる

✓~~常識　質の高い教師を集めるのにはコストがかかる~~

✓新発想　教えることは「**喜び**」であり「**最も効率的な学び**」である

✓~~常識　受講者を集めるにはコストがかかる~~

✓新発想　学びの質、学びの場が素晴らしければ「**クチコミ**」で広まる

✓~~常識　お金をいただかないと運営できない~~

✓新発想　お金がない受講者には「**人手**」を提供してもらう

✓~~常識　学校には大きな場所が必要である~~

✓新発想　学校運営に「**ネット**」と「**遊休施設**」を最大限に活用する

hint

僕のライフワークが生まれました。

hintは「大人の生涯学校」を目指します。

hintが目指すものは、教師が教える「学校教育」ではなく、学習者本人が主役となる「成人学習」である。

学びたいと感じた本人が、自ら学ぶ内容を選び、学びのシナリオを書く。

出席は義務ではないし、気に入らなければやめられる。興味を深めれば、独学でも、チームでも、生涯を通じて学び続けられる。

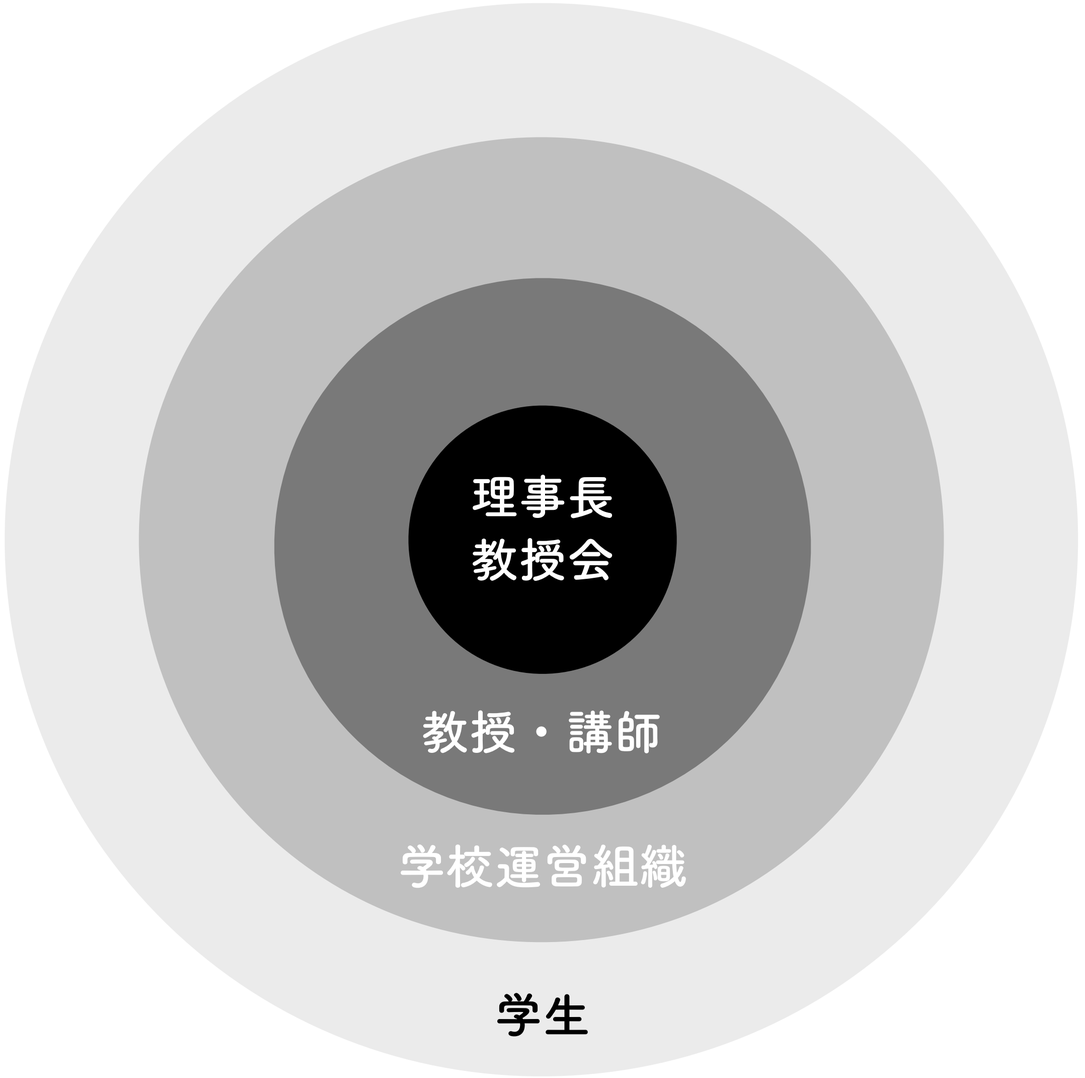
学ぶだけでなく、人と知りあい、信頼関係を構築し、人生を豊かにする。持続的で、進化する「みんなのラーニング・コミュニティ」を創りたい。

学んだ人たちが、組織の幸せ起点となり、まわりの方に幸せが広がる。同時に価値が生まれ、組織が活性化する。自然に社会が繁栄していく基盤となりたい。

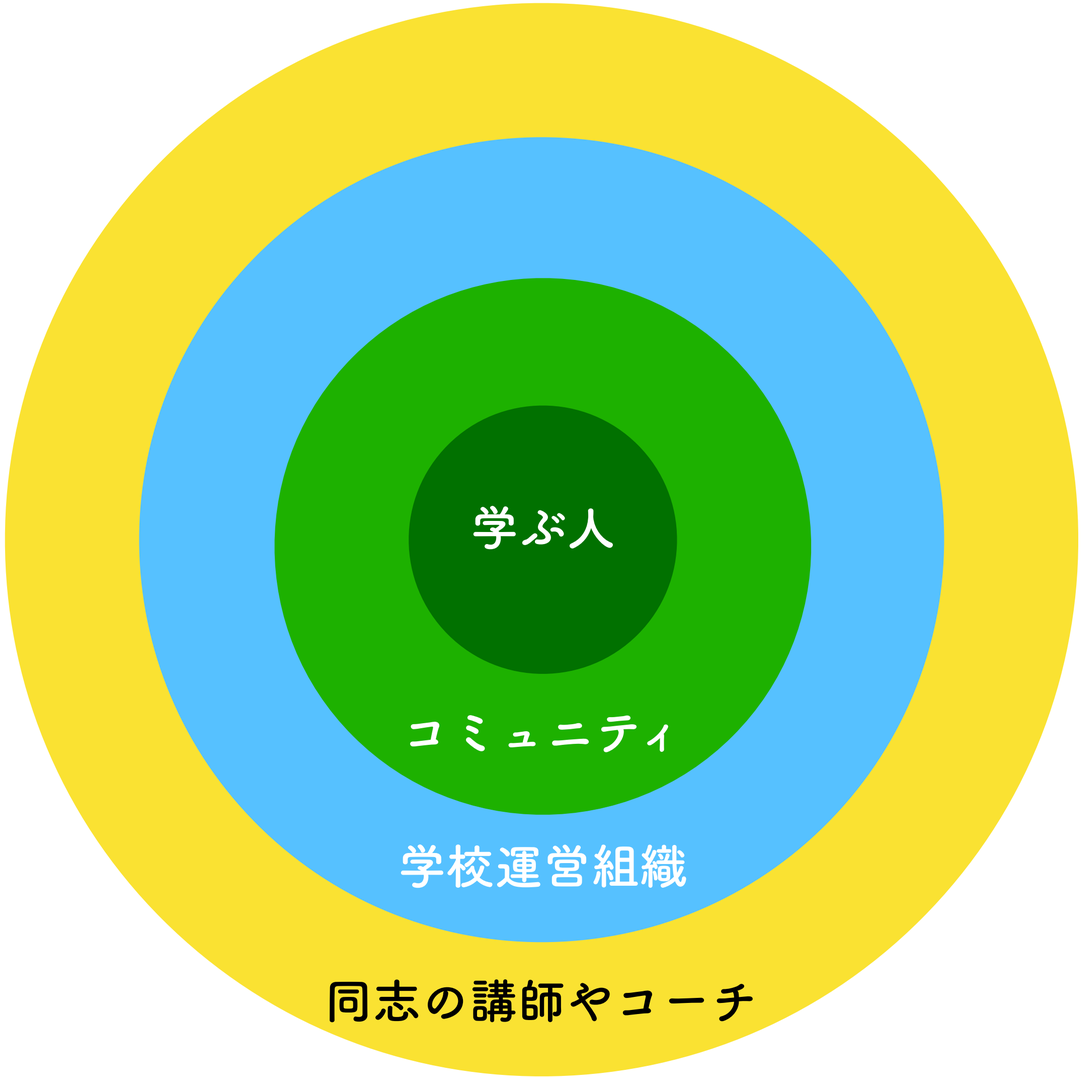
hint academy の社会的使命

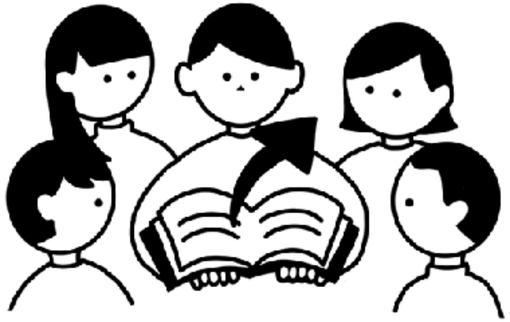
・学ぶ「**コミュニティ**」を生む学校
・幸せになる「**価値観**」を育む学校
・日本の「**課題を解決**」する学校

知識を教える場から
（スクール）



知恵や実践を学びあう場に
（ラーニング・コミュニティ）





hint academy が創出する価値

・自らの「**幸せな生き方**」に気づくこと
・心から「**信頼できる友人**」とつながること
・人を笑顔にする「**組織や事業**」を生みだすこと

幸せに生きるための
知恵と技術を学びあう

多様性

Ⅴ. 多様な技術や文化を学びあう
(語学、プレゼン、パーマカルチャー
アート、動画、プログラミング…)

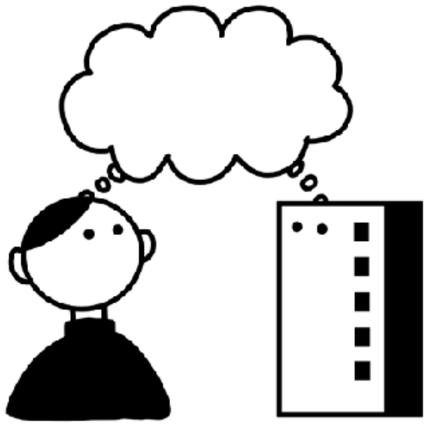
Ⅳ. イノベーションの技術を学ぶ (リーンスタートアップ、デザイン思考 …)

Ⅲ. リーダーシップの技術を学ぶ (心理的安全性、意味の共有、内発的動機づけ …)

Ⅱ. ダイアローグの技術を学ぶ (ファシリテーション、ゴードンメソッド …)

共有

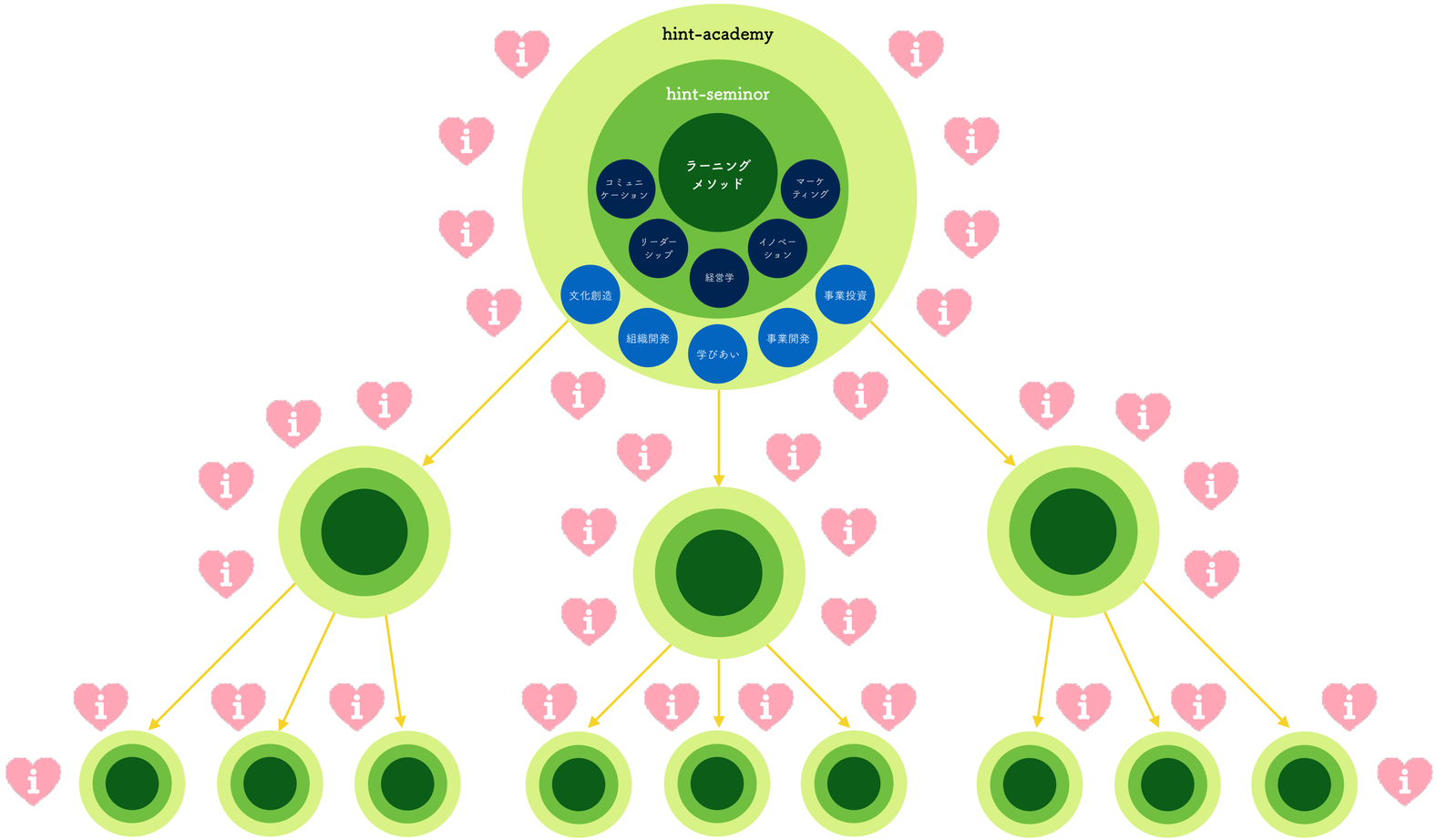
Ⅰ. 幸せに生きるための知見を学ぶ (ポジティブ心理学 …)



hint academy が目指す未来

・誰でもいつでも「**均等な機会**」を得られる未来
・人々が「**オープン、フラット**」につながる未来
・笑顔と自然が調和する「**サステナブル**」な未来

人を幸せにするイノベーションを、ペイフォワードする



そして、**人を幸せにするイノベーション**が世界に広がってゆく

一人ひとりが輝き、笑顔があふれる世界に！

人を幸せにするイノベーションを、ペイフォワードする

hint = **h**appy **in**nova**t**ion for everyone

（命名は、さとなお）

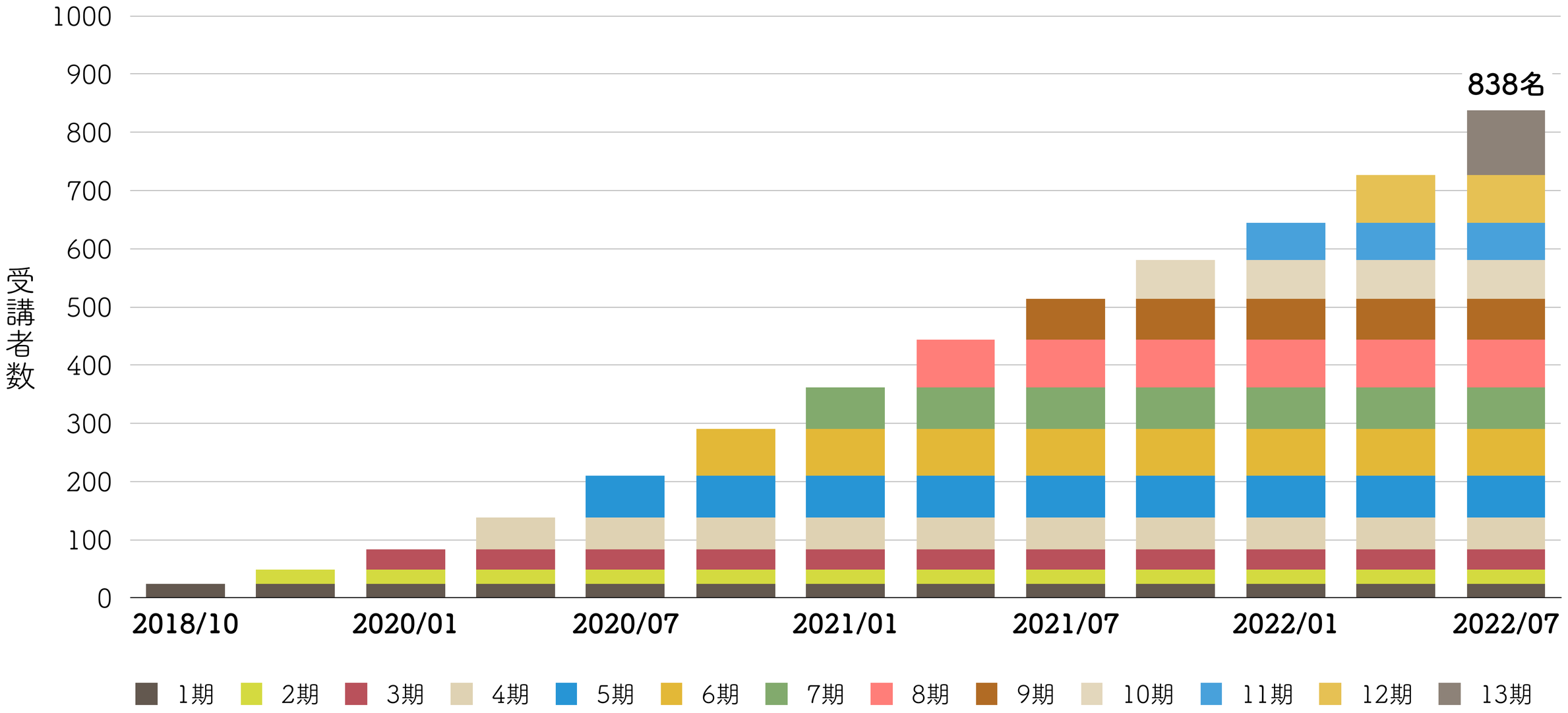
こうして、学びの理想郷をつくる
「hint Academy Project」は
盟友さとなおのチカラを借りて
2018年10月にはじまりました。

h!nt は、生き物みたいな学びの場。

hint

hintは生き物のように進化します。

hintアカデミーのメンバーは、800名を超えました



hintアカデミーは、三ヶ月ごとに進化してきました

	サイト制作	動画導入2020版	チーム学習(Zoom)	運営組織ティールズ	hintプラス	hintスタジオ	教材更新Slack導入	情報発信(SNS)	知識基盤(Notion)	ティールズ改革	教材更新2022版
1期 18秋 さとなおに相談。実験的スタート											
2期 19秋 リアル中心。オンラインは生中継	○										
3期 19冬 オンライン向けにマイクロ動画導入	○	○									
4期 20春 Zoomによるチーム学習を導入	○	○	○								
5期 20夏 ティールズによるLF制度を導入	○	○	○	○							
6期 20秋 学びの場の充実。プラス実験	○	○	○	○	○						
7期 20冬 PMFスタジオ始動。プラス本格化	○	○	○	○	○	○					
8期 21春 教材一新。クラス追加、Slackシフト	○	○	○	○	○	○	○				
9期 21夏 サイト一新。HODスタジオ始動	○	○	○	○	○	○	○	○			
10期 21秋 Notion実験、PMFスタジオ一新	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
11期 21冬 Notion本格導入、ティールズ改革	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12期 22春 教材一新(だかぼく)。サイト一新	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

不思議に成長していくhintですが

特に不思議に感じられるのは
学びの場を運営するボランティアチーム
「ティールズ」の存在です。

それって、ほんとに機能してるの？

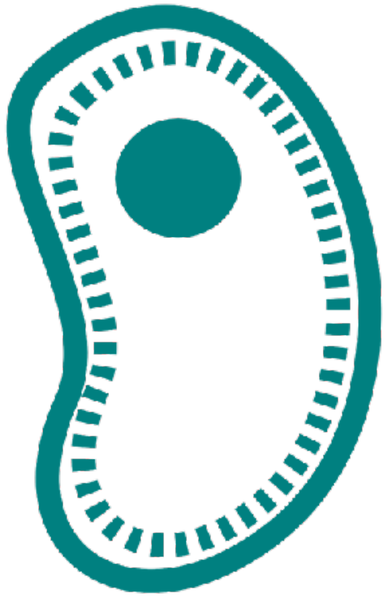
ティールズは生き物のように動きます。

どうして生き物みたいに動くの？

それは「ティールズ」が
純粋無垢なティール組織だからです。

「ティール組織」

生命体のように進化し続ける組織



メタファー：生命体

	達成型組織	多元型組織	ティール組織
組織の形態	ピラミッド	ピラミッド	ほぼフラット
組織の目的	売上・利益・拡大	成果と人間関係の共存	個人と組織の使命
動機づけ	予算統制と賞罰	価値観に基づく内発性	内なる正義、内発的動機
価値観	実力主義	組織文化	自己実現と社会貢献
情報共有	統制あり	給与以外はほぼオープン	すべてオープン
プロジェクト	トップダウン中心	ボトムアップ中心	自然発生的
人事評価	成果主義	プロセス重視	メンバーの話しあい

参考：フレデリック・ラルー著「ティール組織」

ティール組織、３つの特徴

進化し続ける目的

セルフマネジメント

個人の全体性

参考：フレデリック・ラルー著「ティール組織」

進化し続ける目的

経営学チーム	① 幸せ視点の経営学に関して、**自分自身が学んだ知識を、実践を通じて習得**する ② チームを活性化し、**心理的に安全な場をつくり、主体的・対話的で深い学び**に導く
イノベーションチーム	① 幸せ視点のイノベーションに関して、**自分自身が学んだ知識を、実践を通じて習得**する ② チームを活性化し、**心理的に安全な場をつくり、主体的・対話的で深い学び**に導く
アカデミーチーム	① 活動を通じて、**信頼できる友人**とつながり、**自分自身が価値を感じる場**をつくる ② アカデミー内の**イベント・部活・講義を企画**し、**会員が生涯を通じて学べる場**をつくる
hintエンタープライズチーム	① hintの価値を、**自分自身のビジネスに活かすための企画**を練り、実践にうつす ② 興味を持つメンバーが**ビジネス化できるよう、事業化のフレームと成功事例**をつくる
HODスタジオチーム	① スタジオを通じて、**幸せ視点の組織開発**づくりを体験し、**自分自身のビジネス**に活かす ② hint全体で共有できる、**幸せ視点の組織開発メソッド**を開発し、成功事例をつくる
PMFスタジオチーム	① スタジオを通じて、**PMFのメソッド**を学び、**自分自身のビジネスを成功**に導く ② スタジオ受講メンバーで共有できる、**営業や広報、広告などのマーケ基盤**をつくる

①は「**参加する自分自身の成長**」のため、②は「**hintへの貢献**」のための**ミッション**。両方満たされることを大切にします

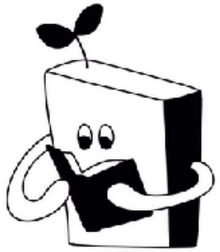
セルフマネジメント

ティールズ・オニオンモデル

- 個々の受講者の思いに寄り添う
- 何ができるかをユニットで考え、行動する
- 迷ったら、バリューにそって考える
- 全体で、情報や知識を共有する
- 問題が発生したら、みんなで助け合う

個人の全体性（ホールネス）

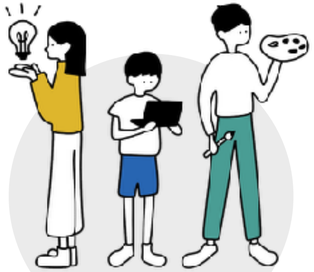
ワクワク主義
自分がワクワク、みんながワクワク



学びドリブン
どっちの選択が、より学びになる？

走りながら進化する
クリエイティブに、シンプルに

素のまんまトーク
素のまんま、なんでも本音で話せる場



しなくちゃをしたいにするヒント

オープンな文化
オープンが標準、クローズには意味を

シェアド・リーダー
最適なリーダー、最高のフォロアー

誰もが主人公
善悪をきめつけず、個性と多様性を大切に

疲れたらやすもう
自然体が一番。疲れたらやすもう

hint

しなくちゃの世界から、したいの世界へ。

h!nt

自己決定で「しなくちゃ」をなくす

与えられた仕事を、給料分こなすように

hint

意味づけを、自ら考える

① 三ヶ月の経験で、どう成長する？

② 三ヶ月の経験で、誰を笑顔をする？

引き受けた以上は、責任を持つように

hint

自己決定し、助けあう

① 三ヶ月ごと、入会も役割も自分で選ぶ

② 疲れたら休む。みんなで助けあう

必ず、管理者に確認してもらうように

hint

自ら考え、動き、学び、共有する

① 共有する価値観と自分の信念を大切に

② 走りながら考える。困ったら助けあう

つきない期待感で「したい」がふえる

コンテンツは講師が担当。改定も任意

hint

学びがつきない

① 一貫したコンテンツ。質と量がすごい

② 毎年、最新版にリニューアルされる

公私を区別する。馴れ合いにならない

hint

出会いがつきない

① 素のまんまなので、すぐ仲良しに

② 三ヶ月ごと、何でも話せる友が増える

年初に計画を立て、予算達成で拡張する

hint

進化がつきない

① ゼロベースで、学びながら進化する

② 見たことのない世界を、みんなで創る

ティールズは

生涯の学びの場を
みんなで手作りするプロジェクト

そんなこと、ありえない。

そんなきれいごとで、
人が動くわけない。。。

ここでお話したことは
現実の世界なんでしょうか？

ビジネスの常識をくつがえすような仕組みで
広告費も全くかけずに、多くの社会人が参加して
自律的に成長する場をほんとにつくれるのでしょうか？

友人にhintな人がいたら、聴いてみてください。
興味があれば、自分の目で確かめるのもありかも🤔

制作者プロフィール　斉藤 徹（さいとうとおる）

1961年12月12日生まれのAB型、原宿近辺に在住
愛するもの … ストーンズ、ホール&オーツ、拓郎、サザン初期、ターニャ、今を生きる、青島刑事と湾岸署、ジョブズ、野菜、sunao、ループス、dot、hint、スライドづくり、穏やかに生きる

1985年 日本IBM株式会社に入社
1991年 株)フレックスファームを創業
2000年 x-Servlet が日経広告賞、日経製品賞を受賞
2001年 バブル崩壊により、創業者追放の憂き目に
2005年 株)**ループス・コミュニケーションズ**を創業
2009年 ブログ「**in the looop**」を執筆開始
2011年 書籍「**ソーシャルシフト**」を上梓
2016年 **学習院大学** 経済学部特別客員教授に就任
2016年 書籍「**再起動　リブート**」を上梓
2018年 幸せ視点の経営学を学ぶ「**hintゼミ**」を開講
2020年 **ビジネス・ブレークスルー大学** 教授に就任
2020年 書籍「**業界破壊企業**」を上梓
2021年 書籍「**だから僕たちは、組織を変えていける**」を上梓

幸せ視点の経営学とイノベーションを学ぶ「hintゼミ」を開講しています

1. 経営クラス
- ☐ 社員の幸せが成果を生み出す組織をつくりたい
- ☐ 社員が働きがいを感じる組織をつくりたい

2. リーダークラス
- ☐ 指示なしで自律的に動くチームをつくりたい
- ☐ 心理的に安全な場のつくりかたを知りたい

3. イノベーションクラス
- ☐ 新しい事業やサービスをゼロから考えたい
- ☐ 最小コストで成功する事業を起ち上げたい

「hintゼミ」にご興味ある方は　hintゼミ

■ 社内向け講演実績（掲載許可をいただいた企業のみ）

アント・キャピタル・パートナーズ様、NHKエンタープライズ様、NTTアド様、関西電力様、カスミ様、KDDI様、コナミデジタルエンタテインメント様、静岡朝日テレビ様、静鉄ストア様、資生堂様、スポーツオアシス様、大広様、D2コミュニケーションズ様、DAC様、デルフィス様、電通様、電通テック様、トッパン・フォームズ様、日清食品様、日本オラクル様、日本ユニシス様、博報堂様、博報堂DYメディアパートナーズ様、パナソニック様、BSフジ様、ビルコム様、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン様、三菱UFJニコス様 他

■ 顧客むけ講演実績（掲載許可をいただいた企業のみ）

アイエムジェイ様、IMJ様、IFIビジネススクール様、朝日インタラクティブ様、アスキー総研様、ITマネジメントサポート協同組合様、EO大阪様、ADTECH様、アライドアーキテクツ様、茨城県経営者協会様、ココロザシ大学様、インフォバーン様、Web2.0様、ACフォーラム様、NTT様、OAG税理士法人様、大阪アドバタイジング協会様、大塚商会様、オプト様、カレン様、川崎商工会議所様、企業研究会様、グローバルコモンズ様、神戸ITフェスティバル様、神戸商工会議所様、コミュニティデザイン様、佐賀県高度情報化推進協議会様、佐賀商工会議所様、CIOマガジン様、ジークラウド様、GPオンライン様、JPモルガン証券様、消費者関連専門家会議様、翔泳社様、情報通信総合研究所様、新聞広告協会様、セールスフォース・ドットコム様、ソフトバンク様、ソリューション研究会様、大日本印刷様、タスク様、調布青年会議所様、ツイートアカデミー様、ティップネス様、デジタルハリウッド大学様、TechWave様、デロイトトーマツ様、凸版印刷様、トッパンフォームズ様、ドラッグストアMD研究会様、日冠連経営者協議会様、日本経済新聞社様、日経BP様、日本アドバタイザーズ協会様、日本ATM様、日本オラクル様、日本カードビジネス様、日本経営開発協会様、日本小売業協会様、日本システム開発様、日本商工会議所様、日本生産性本部様、日本製薬工業協会様、日本綜合経営協会様、日本チェーンストア協会様、日本電気様、日本マーケティング協会様、PR現代様、ビジネスバンク様、ビジネスブレイクスルー様、富士ゼロックス様、富士ゼロックス総合教育研究所様、保険サービスシステム様、毎日コミュニケーションズ様、マインドフリー様、丸の内ブランドフォーラム様、三菱UFJモルガンスタンレー証券様、宮城大学様、メンバーズ様、LineUp様、楽天様、リックテレコム様、流通科学大学様 他

企業向けセミナー承ります。お気軽にご連絡を … saito1212@gmail.com